事例No.	1581
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	富山県南砺市

事例区分	地域活性化

タグ	・副業・兼業活用 ・関係人口 ・移住定住

事例種類	副業・兼業活用

事例内容・タイトル

南砺市「副業」応援市民プロジェクト事業

出典

地域づくり人材の養成に関する調査研究会資料1　事例調査結果（最終報告）

【地方自治体④】富山県南砺市（南砺市「副業」応援市民プロジェクト事業）

【事業名】南砺市「副業」応援市民プロジェクト事業

【実施主体】富山県南砺市

【実施経緯】

平成28年10月より、南砺市を応援する人を登録し、市内のイベント等にボランティアで参加する「南砺市応援市民制度」（令和3年4月末現在903人登録）において、応援市民の更なる創出を図りたいとの意向があった。

地元経済を顧みたときに、地元企業には、経営戦略や販路拡大などといった経営課題を解決する専門性のある人材がいない、ビジネス面で応援市民を増やしたいということがあった。

そんな中で、平成30年に副業・兼業が緩和され、また支援機関を通じ、副業・兼業人材が副業・兼業をする理由として自身のスキルアップのほか、地方貢献をしたいという意向を持っていることを知るに至ったことから、南砺市「副業」応援市民プロジェクト事業を実施するに至った。

なお、当事業は、産業振興部門ではなく、主に移住・定住施策を担当する部門、「南砺で暮らしません課」が受け持ち、事業を推進している。

【準備状況】

平成30年９月３日に、市、南砺市商工会、（株）みらいワークスの3社で包括連携協定を締結。

市と南砺市商工会は、市内の企業に対し、副業・兼業人材を活用することのメリットをセミナー等を通じて普及活動を行った。

（株）みらいワークスでは、副業のプラットフォーム「Skill Shift」を通じて人材募集・マッチングを実施。

また開始当初は、地元企業の経営課題発見や人材募集広告の掲載後の応募者とのやり取り等の伴走支援を市内のコンサルタント会社に業務委託した。

【実施状況、事業レビュー等】

これまで副業・兼業人材の受入れに関するセミナー、市内企業の副業・兼業人材の活用に際しての各種サポートを実施。

令和２年10月に富山銀行と「地方創生に向けたSDGs（持続可能な開発目標）の推進に関する包括連携協定」を締結。協定では産業の振興や雇用の維持・拡大、移住・UIJターンの促進に関わることの協働が盛り込まれたことから、令和3年度から富山銀行が活用企業の伴走支援を行っている。

【副業・兼業人材の地域との関わり】

移住促進も意識した取組の中で、副業・兼業人材の１名が移住に至った。

しかし、本事業では、企業と副業・兼業人材との関係はビジネス上の関係であるため、なかなか地域との関わり深めるというケースにまでは至っていない。

当初の目的は、関係人口の拡大に結びつけるというものであったため、現在、目的達成に向けどのような取組が効果的か模索している。

【今後の展望】

副業・兼業人材の取組動機に地方貢献があるので、活動終了後の地域とのつながり、すなわち「南砺市応援市民」への誘導の強化が今後の課題と認識。

副業・兼業人材の活用によって、地元企業の魅力が向上している。今後、地元企業にUIJターンの雇用創出の場が創出されることを期待している。

【外部からの支援】

本事業は、地方創生推進交付金を活用し実施しているので、引き続き引き続き同交付金の活用を期待。